

議会

だより

高知県須崎市議会

11月臨時会

12月定例会

令和2年2月1日発行



表紙:みなみ保育園

目次

各常任委員会構成	2~3P
審議結果一覧表、人事案件	3~4P
一般質問(9人)	5~13P
意見交換会の開催、陳情等	14P

議会を
傍聴
しませんか

議会の傍聴は、入口にある受付簿に住所、氏名などを記入するだけでどなたでもできます。議会日程など詳しい事は、議会事務局までお問い合わせください。TEL 42-8791

次回定例会は、3月開会です。

各常任委員会と議会運営委員会

新しい委員が決まりました。(◎委員長、○副委員長)

議会運営委員会【任期1年、8人】



佐々木 學



吉野 寛招



○高橋 立一



◎豊島 美代子



宮田 志野



高橋 祐平



西山 慶



大崎 稔

議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例など、議会に関する事項

総務委員会【任期1年、8人】



西村 泰一



吉野 寛招



○高橋 祐平



◎海地 雅弘



豊島 美代子



高橋 立一



柿谷 悟



松田 健

総務課、企画政策課、プロジェクト推進室、元気創造課、人権交流センター、地震・防災課、税務課、会計管理者、選挙管理委員会監査委員の所管に関する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項

産業建設委員会【任期1年、8人】



高橋 祐平



松田 健



○宮田 志野



◎吉野 寛招



大崎 宏明



森田 收三



海地 雅弘



土居 信一

農林水産課、建設課、住宅・建築課、水道課、農業委員会の所管に関する事項

教育民生委員会【任期1年、8人】



西村 泰一



佐々木 學



○西山 慶



◎土居 信一



森田 收三



宮田 志野



柿谷 悟



大崎 稔

教育委員会、市民課、環境保全課、福祉事務所、長寿介護課、健康推進課の所管に関する事項

審議結果一覧表

11月臨時会 ●全会一致のもの

	番号	件 名	議決結果
市長提出議案	第41号	専決処分の承認について(令和元年度須崎市一般会計補正予算(第3号))	承認
	第42号	専決処分の承認について(令和元年度須崎市下水道事業特別会計補正予算(第3号))	承認
	第43号	工事請負契約の変更について	可決

第459回 須崎市議会12月定例会(4日～19日)

市長提出議案 19議案、条例(7件)、予算(8件)、その他(4件)、議員提出議案(意見書など) 2議案、陳情2件、慎重審議の結果、原案可決19、同意2、採択2 となりました。

12月定例会 ●全会一致のもの

	番号	件 名	議決結果
市長提出議案	第45号	須崎市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第46号	須崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
	第47号	須崎市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	可決
	第48号	須崎市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決
	第49号	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決
	第50号	須崎市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決
	第51号	令和元年度須崎市一般会計補正予算(第4号)について	可決

12月定例会 ●全会一致のもの

	番号	件名	議決結果
市長提出議案	第52号	令和元年度須崎市バス事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	第53号	令和元年度須崎市スクールバス特別会計補正予算(第1号)について	可決
	第54号	令和元年度須崎市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
	第55号	令和元年度須崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
	第56号	令和元年度須崎市下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可決
	第57号	令和元年度須崎市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
	第58号	令和元年度須崎市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
	第61号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
	第62号	監査委員の選任について	同意
議員提出議案	第8号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の提出について	可決
陳情	第13号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択を求める陳情書	採択

12月定例会 ●起立採決したもの

※ □:議長、○:賛成、×:反対、欠:欠席、退:退席

	番号	件名	議決結果	吉野 寛招	佐々木學	西村 泰一	大崎 稔	西山 慶	松田 健	柿谷 悟	高橋 祐平	土居 信一	高橋 立一	海地 雅弘	宮田 志野	豊島 美代子	森田 收三	大崎 宏明
市長提出議案	第44号	須崎市人権尊重の社会づくり条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	第59号	公共施設等運営権の設定について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×
	第60号	須崎市総合計画の基本構想の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議員提出議案	第9号	すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書の提出について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	第14号	すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書の提出を求める陳情書	採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



- 人権擁護委員 古味 秀夫 (西崎町)
- 監査委員 畠中 健治 (吾川郡いの町)
- 選挙管理委員及び補充員選挙
 - 【委員】 橋本 哲夫、古味 秀夫、岡村 茂、朝比奈 美紀子
 - 【補充員】 横山 豊實、山崎 洋子、宮崎 佐代、辻 正史

10日(火)



大崎 稔 議員

小中学校の統合と給食センターの建設

問

今議会、市長の提案趣旨説明で、今後的小中学校の配置の方向性を示すため、統合計画の策定に向けて検討を開始したと表明された。

まずは府内での協議を行った上で、児童生徒の実情を十分に踏まえ、保護者や市民への説明、協議に移つていただきたいことであるが、今年度中に本当に統合計画ができるのか、大変心配をするところである。あわせて学校の統合と給食センターの建設は深くかかわることを考えるが、今後の対応について、以上の2点を教育長に聞く。

答 細木 教育長

旧須崎高校の利活用について

問

旧須崎高校の施設の利活用については、本年度中を調整期間としている。まだ県と調整中だと思うが、例えば、シルバー人材センター等の校舎利用は十分可能と考える。今後の方針について副市长に聞く。

答 横畠 副市長

森林整備について

問

本市において新たな林業振興、森林整備を目的とした協議会が立ち上げられた。その目的の詳細と、今後どのようにその協議会等を活用していくつもりなのか、農林水産課長に聞く。

答 楠瀬 農林水産課長

環境、教育条件を整備することができるよう進めようとするものである。今回の計画では具体的な校名や時期をお示しした統合計画案を今年度中に策定することとしている。案ができたら議員にお示しするとともに、PTAや地元の皆様方にも説明をしていく予定である。

また、給食センターの整備は、関連する課題であると考えており、できるだけ早期に実現をしたいと考えている。現在さまざまな条件を勘案しながら、立地に適した建設予定地を模索している段階であり、ここしばらく時間をいただきたい。

そうした中で、このたび、新しい図書館の整備を旧須崎高校とは別の場所で進めていく考えとなり、利活用案について協議、検討を再開し、一定取りまとめた上で県教育委員会との協議、調整を進めていきたい。

また、議員御指摘のシルバー人材センターやその他の団体からも事務所等としての要望もいただいており、利活用案、機能の一つとして検討していただきたいと考えている。

上分診療所、南診療所の対応について

問

地域医療において、大きな役割を果たしている地域の診療所であるが、残念ながら、上分と南診療所が現在休診となっている。一日も早い再開を願うところである。

その他にも課題があると聞いているが、この休診中の診療所を含め今後の対応について聞く。

答 森光 健康推進課長

診療所の再開に向けて、現在、高岡郡医師会や市内の医療機関に協力を仰ぎ、後任医師の確保に努めているが、再開につながる医師の確保に至っていない状況である。

一日でも早く再開できるよう、引き続き医師確保に努めていきたい。

なお、御指摘をいたしている診療所の診療口等についても、今後協議をしていきたいと考えている。

小中学校の統合については、少子化が進行する中、時代の変化に対応したよりよい教育

環境、教育条件を整備することができるよう進めようとするものである。今回の計画では具体的な校名や時期をお示しした統合計画案を今年度中に策定することとしている。案ができたら議員にお示しするとともに、PTAや地元の皆様方にも説明をしていく予定である。

また、給食センターの整備は、関連する課題であると考えており、できるだけ早期に実現をしたいと考えている。現在さまざまな条件を勘案しながら、立地に適した建設予定地を模索している段階であり、ここしばらく時間をいただきたい。

そうした中で、このたび、新しい図書館の整備を旧須崎高校とは別の場所で進めていく考えとなり、利活用案について協議、検討を再開し、一定取りまとめた上で県教育委員会との協議、調整を進めていきたい。

また、議員御指摘のシルバー人材センターやその他の団体からも事務所等としての要望もいただいており、利活用案、機能の一つとして検討していただきたいと考えている。

また、議員御指摘のシルバー人材センターやその他の団体からも事務所等としての要望もいただいており、利活用案、機能の一つとして検討していただきたいと考えている。

この協議会は国、県の森林機関を初め、素材生産や自伐林家といった森林、林業の有識者から建設協会まで、各分野の方々で構成されており、現場の意見を参考に山全体の

課題を洗い出し、ゾーニングによる整備や木材の流通など、従来の林業振興とあわせて、森林環境譲与税の活用についても検討していきたいと考えている。

この協議会は国、県の森林機関を初め、素材生産や自伐林家といった森林、林業の有識者から建設協会まで、各分野の方々で構成されており、現場の意見を参考に山全体の

10日(火)



西村泰一 議員

る活躍、発展を願つておる。

妙見山避難道整備について

本年3月に行われた地域防災会議において、避難場所一律20メートルの基準の見直しが承認され、今年度より地域住民要望の妙見山公園においても避難場所という位置づけとなつた。

この妙見山への避難道は人口密集地で本来ならば当然優先的に整備されるであろう位置づけでありながら、取り残されたいた経過がある。次年度にはまず、やまき裏から妙見山公園につながる市道を避難道として整備をしていただきたいと強く願う。市長の所見を聞く。

答 楠瀬市長

高知県第3代表として秋季高校野球四国大会に臨まれた本市の明徳義塾高校野球部、四国の頂点に立ち、来春の選抜出場が確実視されている。

思い起こせば平成14年、目の前で全国制覇したときの感動、きのうのことのように思い出される。あの感動をもう一度、そう強く願つておる。明徳義塾高校野球部に対するエールをお聞かせ願いたい。

須崎魚市場の整備について

同校野球部はこれまで春、夏の甲子園大大会へ多くの出場を数える強豪校であり、地元須崎市としても、全国制覇の期待に胸を膨らませておるが、何よりも選手の持てる力を全て出し切つて戦つていただこうことを期待している。

今後も、明徳義塾中学、高等学校のさらなる

須崎魚市場老朽化対策に対する所見、課題を副市長に、基本設計から施工に至るまでの一連の流れ、予定を農林水産課長に聞く。

答 横畠副市長

魚市場の老朽対策については、本市の基幹産業の一つでもある水産業のさらなる振興、また、それを担つておる漁業関係者の安全対策のために必要不可欠と考えている。そんな中で、大きな課題としてあがつておるは、魚市場整備に係る経費の問題で、概算、7億円程度かかると試算しております、経費負担をいかに圧縮していくかが大きな課題となつておる。

答 楠瀬農林水産課長

基本設計から施工までのスケジュールについて、令和2年から基本設計と実施設計を行い、令和3年度以降の施工を目指すものである。

なお、整備に係る事業は、国の高率な補助事業である、リマ区域周辺漁業用施設設置事業を予定している。

問 マで整備されるということで、この負担割合は国が3分の2、県が20分の1、あとどうするかという課題が残つておる。

仮に本市負担が県同様20分の1としたら、概算で1億8,000万円程度の漁協負担、そして市負担10分の1としたら漁協負担約1億3,000万円、5分の1としたら漁協負担約6,000万円というよう数字も出てくる。各漁協も漁場環境の悪化や組合員の高齢化、手数料収入の減少等で厳しい経営状況の中、漁協の負担軽減策を検討しなければならないと考えるが、副市長に再度所見を聞く。

答 横畠副市長

國、県の補助が見込めるこのタイミングを逸することのないよう、市としても財政措置が可能な範囲で継ぎ足し補助制度を設けることやその他の財源確保策についても探つていくなど、魚市場建てかえを実施できるよう、検討していきたい。

野見湾養殖小割の監視カメラ設置について

野見湾の養殖小割を監視できるよう、監視カメラ設置の要望があがっている。赤潮等の潮流の変化、また、大雨のたびに発生する小割へのごみ流入の早期確認、不審船の監視、窃盗等の抑止にもつながるのではないか。この監視カメラ設置について、どのような支援が可能か。

答 楠瀬農林水産課長

赤潮などの海面環境の監視については、水産多面的機能発揮対策事業で、目視による監視の支援はあるが、カメラ等の機器導入は対象外となつておる。

ただ一方、密漁対策については、水産業競争力強化緊急対策事業で機器導入は可能と聞いておる。

10日(火)



吉野 寛招 議員

民俗文化財に指定されており、旧暦の8月23日に鳴無神社秋祭りに境内で奉納されていたが、近年は踊り子の減少などを行われていないと聞いている。

人口減少に伴い、同様のケースが全国各地でも見られ、これまで保存伝承されている地域の祭りなどをいかに守つていかという課題に取り組む姿をテレビなどで見かけるようになってきた。

大切な地域の伝統文化を後世に伝えていくことが非常に重要であり、関係者の御意見を伺い、必要な方策を検討していくことと考えている。

有形・無形文化財について

〔問〕 以前は鳴無神社で神踊りという珍しい踊りを奉納していたが、できなくなってしまった。受け継ぐものもわずかとなり、復活は難しいようだ。一度消滅した有形、無形のものを再生復活することは容易ではない。

〔答〕 そこで、文化財などの保護を目的とした基金を設け、地域から廃れたものや廃れゆく懸念のある文化財に対して復活や保護の支援要請を積極的に受け入れ、地域活動の活性化や観光資源に資するものなど、要件を定めて財政支援をすることがあるといふのではないかと考えるが、市長の所見を聞く。

鳴無神社の神踊りは、高知県保護無形

答 岡本地震・防災課長

本市は水防法において、大臣や知事が指定する洪水浸水想定区域がないので、洪水ハザードマップは現在のところ存在していない。しかしながら、今年の豪雨災害を受け、国から全都道府県における洪水ハザードマップの作成に取り組むとの動向も聞いており、国や県から洪水に関するデータ提供を受けた場合、速やかに洪水ハザードマップを作成したいと考えている。

また、現在、県とともに土砂災害警戒区域の調査を行っており、調査終了後、土砂災害に関するハザードマップを作成予定である。これらのハザードマップを作成後に自主防災会等に情報提供し、御協力をいただきながら防災対策を進めていきたい。

これらのハザードマップを作成後に自主防災会等に情報提供し、御協力をいただきながら防災対策を進めていきたい。

行政財産について

〔問〕 国の補助を受けて設置した押岡地区の源蔵広場にテニスコートができる。これままでこの施設の整備については、平成30年6月議会に子ども・子育て支援課よりテニスコート移転事業費1,100万円を提案、承認され、整備を行ったもので、事業費で対応できない部分や維持管理については須崎市体育協会で対応している。

なお、この施設の整備については、平成30年6月議会に子ども・子育て支援課よりテニスコート移転事業費1,100万円を提案、承認され、整備を行ったもので、事業費で対応できない部分や維持管理については須崎市体育協会で対応している。

そこで、今年の台風の教訓を生かし

た、風水土砂災害時対応マニュアルを作成し、全自主防災会に強力に働きかけ、確認等の作業をするよう要請すべきと

考えるが、地震・防災課長に所見を聞く。

制限され、独占的な使用となることだ。テニスコートの整備は使用者が自費で行ったと聞いているが、市がテニスコートの設置を認めたことについて、その経過を聞く。

答 西田生涯学習課長

源蔵ソフトテニスコートの使用について

は、多ノ郷小学校横で行っていたソフトテニスコートが新保育園整備のため使えなくなるため、代替地として源蔵児童遊園内に整備したものである。使用するに当たり、平成30年12月3日に公園を管理している建設課に教育委員会から使用許可申請を行い、12月4日に使用許可されている。

教育委員会として使用許可されたソフトテニスコート部分を管理するため、これまで同様、須崎市体育協会に管理を願い、須崎市体育協会に使用許可している。

そこで、今年の台風の教訓を生かした、風水土砂災害時対応マニュアルを作成し、全自主防災会に強力に働きかけ、確認等の作業をするよう要請すべきと

考えるが、地震・防災課長に所見を聞く。

その他 介護保険について、林業振興についてなど質問。

答 楠瀬市長

10日(火)



森田收三 議員

くか、これは保険制度や社会保障の中で、議論がされるべきであると考えており、こういった一体改革の中で一番苦しいこの10年間を乗り切つていいくことと、一つ一つの経済成長の中で税収自体を上げていく取り組みを我々は期待している。

その中では地方創生、地方に活力をつけていく政策がなければ、日本全体の税収が上がつていかない。そういうものを総合的に組み合わせて改革を行つていべきだと考えていく。

新保育園の園全体の定数には余裕があるが、クラス別では定員を超えていると聞く。このことは、全体として保育士が不足していることにあるのではないかと聞く。希望する園児がせっかく開園したおひさま保育園に入園できなれば、開園に水を差すのではないのか。保育士の確保の対策、状況について聞く。

消費税の引き上げについて

おひさま保育園の開園にあたって



9月議会で市長は、消費税の引き上げについて、社会保障と税の一体改革において、社会保障の充実とともに財政健全化を図るもので、際限なく消費税を引き上げることにはならないという答弁だったが、歴代政権は、財源は消費税で社会保障をと言い、増税を行つてきた。市長はこの財源をどこに求めようとしているのか。

答 楠瀬市長

支えぬ側の若い世代が人口的に少ない状況になつておおり、総合的に年齢にかかるらず、一定の応分の負担ができる方には負担していただきたいのが国の基本的な考え方だと認識している。そうすると、年金生活者や経済的に苦しい方をどのように救済していくか。

答 楠瀬市長

議員案内どおり、年齢別によるクラス定員もあり、保育園の定員内でもお受けできない場合もある。

今後正確な集計をした後、法律に基づいた保育士の適正配置をした上で、保育協会等に採用された方に祝い金を出す

に保育士を配置していただき、定員を超した場合は利用調整による優先順位をもとに第2、第3希望の案内になると思う。特に低年齢児童については、育児休暇中や求職中の方は保育をお受けできないケースが出てくる可能性もある。

保育士の確保については、保育協会に努力いただき、今年も数人の職員を採用しており、今後も引き続き臨時職員も含め、雇用のため、新たな政策も含め、検討しているところである。施策を進めていきたい。

浦ノ内に遊具を備えた公園整備を

浦ノ内では今多くの大会や競技等が行われている。その中で、子供連れ

れが多くみられるが、浦ノ内には運動公園はあっても、遊具のある公園が1ヵ所もない。公園に遊具を設置する考えはないのか。

答 楠瀬市長

現在、浦ノ内地区で市が管理する公園は、根間崎公園、これは浦ノ内中学校の西の山にあるが、遊具は設置されていない。子供が遊ぶことができる遊具の設置は必要であると考えるが、根間崎公園以外の場所で遊具が設置できる場所がないか、検討していきたい。

その他 観光振興について、ふるさと納税についてなど質問。

今後長期的に見て、保育士をどう育てていくか、あるいは、優遇制度を設けて本市の保育士をつづつしていくことが重要になってくるのではないか。

答 中山子ども・子育て支援課長

保育士確保のために保育士資格取得に奨学金を貸与して、本市で保育士として勤務してもらいつつ、返還の免除をするといいや、保育協会等に採用された方に祝い金を出す

といった形で、今整理に向けて調整をしていく。

このことも含め、給与面については保育協会も本市に準じるという形でお願いしており、市から補助金も出しているので、市ができる方策を進めていきたいと考えている。

10日(火)



高橋立一 議員

会計年度任用職員制度について

問

本定例会に、会計年度任用職員制度に関する条例改正案が提案されており、4月実施に向け大枠が示されています。今後は、運用していくための規則等を定めていくことになると考える。ともすれば臨時職員不足に陥るという最近の傾向の中で、処遇の整備・改善は避けて通れない。本腰を入れてこのことに取り組むべきだと思うが。

答

楠瀬市長

これまでの各課等における臨時の任用職員の業務内容や勤務状況などについて、所長や担当者ともヒアリング、協議を実施するとともに、近隣市町村との情報交換や連携を図りながら作業を進めており、法改正の趣旨を踏まえた制度運用が図られるようあると認識している。

う、取り組みがなされたとして認識している。給料、勤務時間、休暇等、総合的に判断をして、改善につなげていく考え方のもと、話を進めたいきたい。

問

11月12日の参議院総務委員会の質疑では、公務員部長から、財政上の制約のみを理由として、新たに期末手当を支給する一方で、給料や報酬を削減することは適切でないという答弁がされ、必要となる経費について総務大臣からは、地方財政計画にしっかりと計上して、適切に財源を確保していくという答弁があつて、答弁に対する政府の責任、同時に自治体の果たすべき責任もまた重大である。市長の考えを聞く。

答

楠瀬市長

本定例会に、会計年度任用職員制度に関する条例改正案が提案されており、4月実施に向け大枠が示されました。今後は、運用していくための規則等を定めていくことになると考える。ともすれば臨時職員不足に陥るという最近の傾向の中で、処遇の整備・改善は避けて通れない。本腰を入れてこのことに取り組むべきだと思うが。

総務大臣及び公務員部長からの答弁は、法改正の趣旨を実現するために意思表示がされたもので、財政措置に向けて前進が図られたとを考えているが、スケジュールや財政措置の方法、規模、要件等もまだ不透明で、財政措置を見込んだ制度設計及びスタートには慎重にならざるを得ない。

答

細木教育長

これまでの各課等における臨時の任用職員の業務内容や勤務状況などについて、所長や担当者ともヒアリング、協議を実施するとともに、近隣市町村との情報交換や連携を図りながら作業を進めており、法改正の趣旨を踏まえた制度運用が図られるようあると認識している。

図書館の整備について

問

昨年の12月定例会で教育長は、本が多いほどいいと、広いほどいいん

さんにとって居心地のいい、使いやすい、市の文化的な基盤としてすぐれたものになるということではないと考えており、ソフト面での充実を図つてほしいことで、よりよい図書館づくり、市民の皆さんに愛される図書館づくりを目指してまいりたいと答弁された。愛される図書館ということは、歓迎されるものであり、できてよかったですと思われるものである。今現在、教育長の考えを聞く。

また、昨年度行ったワークショップで、市民の皆さんからさまざまな御期待をお聞きしており、それは大切にしていく必要があると認識をしている。

(※注 レファレンスサービスとは、図書館の資料を使い、図書館利用者の調べ物のサポートをするサービス)

身の丈以上のものをいじらせてもらおうが。

答

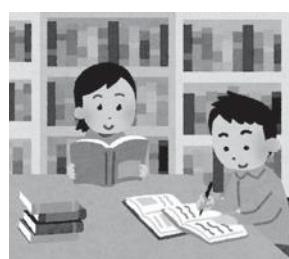
楠瀬市長

身の丈以上をもつた施設であり、なおかつ居心地のいい空間であり、使いやすいといつぱりない」と、もうもうがうまく形になつたら歓迎されるのだろうと考えている。

その他 須崎市総合計画について、運転免許証の自主返納について質問。

要素となるんだからこそ考えてしまう。

さらには、本来の図書館整備の条件を満たすとともに、人口減少や少子高齢化がいわれる須崎市において、図書館が人を介して、多世代の交流できる場として、生活支援の場と一体となって市民の皆さん的心の拠点としての機能を果たせるような施設とすることができれば、大変まざらしきものがでいるのではないか。結果、多くの皆さんに御利用いただけ、喜んでいただけるものになるのではないかと感じている。



新図書館像はどんなものか。

書館づくりを目指してまいりたいと答弁された。愛される図書館ということは、歓迎されるものであり、できてよかったですと思われるものである。今現在、教育長の考え

11日(水)



佐々木 學 議員

いとまご、本市の地勢条件の重みをどうのよつに基準に反映していくかがどうじゅうになる。市長会等を通じて具体的な提案を国に挙げていかなければならないと思ってる。

「保育の質の向上」実現へ

国は幼児教育・保育の無償化が10月からスタートした。社会や国が責任を持つて保育する子供を育てる施策の重要性は言うまでもない。公明党は全国の議員が現場に足を運び、同施策の効果や課題を利用者と事業者から聞き取る実態調査を展開。中間報告として、利用者の約9割が評価している。そして、今後取り組んで欲しい政策の中でも「保育の質の向上」が最も多い回答であった。

フレミアム付商品券の利用拡大へ支援強化

10月から始まったフレミアム付商品券の目的や制度を改めて確認し、現在の本市における申請状況について元気創造課長に聞く。

答 西森元気創造課長

プレミアム付商品券事業は、消費税の税率改正に伴う家計負担の軽減、地域における消費を喚起し下支えすることが目的。対象者は住民税非課税者で一定の要件に該当する4,579人、並びに3歳未満の子供を養育される377人と把握。申請状況は

等の無償化や15歳までの医療費の無料化等、子供や子育て世代に優しいまちづくりを目指して、子育て支援のサービスの充実に努めてきた。現在、第2期子ども・子育て支援事業計画策定に向けて、子ども・子育て支援会議で議論をいただき、その中でも保育士不足による待機児童解消への取り組みについて、計画に反映すべきとの意見が出ている。

そうした課題に対応するため、今後保育士を希望する方へ資格取得のための奨学金や保育協会へ採用された方への祝い金等の制度を来年度に向けて検討しており、保育士の確保に向けて保育協会と協議しながら課題解決に取り組んでいきたい。

南海トラフ地震 臨時情報活用で安心・安全を確保へ

南海トラフ巨大地震の発生が、今後30年以内の確率が70%から80%に見直され、より緊迫した事態が想定される中、国が新たに導入した南海トラフ地震臨時情報について聞く。

答 岡本地震・防災課長

気象庁が南海トラフ周辺の大きな地震や地殻変動等異常な現象を観測した場合に発表。本市は、臨時情報が発表された際の後発地震発生に伴う津波に備え、住民事前避難対象地域を指定。指定地域の住民には安全確保のため、高齢者やすぐに避難できない方等に市が指定する避難所に一週間程度事前避難をお願いする。

臨時情報は、不確実性を持つ情報で、発表されても必ず地震が起ることは限らないが、市としてこの情報を十分に活用し、災害リスクに対応して防災対応を行い、市民の安全確保につなげたい。

答 楠瀬市長

これから国土強靭化がクローズアップされて、災害対策をもつとやらなければならぬで本市ができるとは何か市長に聞く。

これまで本市では、第2子以降の保育料

過去の長い市政運営の中で、市民の生命・財産を守る公共工事等によるインフラ整備が自治体負担の大きな要因となる公債費の根本的原因を究明して、公債費軽減に向けて国の抜本的な救済を仰ぐことで本市ができるとは何か市長に聞く。

答 中山子ども・子育て支援課長

これまで本市では、第2子以降の保育料

過去の長い市政運営の中で、市民の生命・財産を守る公共工事等によるインフラ整備が自治体負担の大きな要因となる公債費の根本的原因を究明して、公債費軽減に向けて国の抜本的な救済を仰ぐことで本市ができるとは何か市長に聞く。

答 中山子ども・子育て支援課長

これまで本市では、第2子以降の保育料

11日(水)



宮田志野 議員

新図書館と図書館環境

問

新図書館の建設予定地は最終決定なのか。最終予定地と決定された経過について聞く。

答

楠瀬市長

新図書館の面積が、駐車場の部分を含め最低でも4,000平米以上が必要であると見積もり、須崎高校跡地・ゆたか跡地・JR須崎駅という3カ所を比較検討した。その結果、ゆたかの跡地は市の所有とする土地もあり、一定規模以上の形状のよい用地がまとまっており、整備の自由度が高く、仮に複合施設として整備する場合も、都市再生の拠点となることができると判断した。

その後、11月26日に市内で組織する須崎市立図書館整備検討委員会で、ゆたか跡地が最終予定地として適当であると判断された。

問 土地購入費・解体費・複合施設の建設費・事業費、総合の金額、予算について聞く。

答 西田生涯学習課長

ゆたか跡の用地の土地購入費については、今後具体的な協議を行うこととしており、現時点ではお答えできない。解体費用は、建物の状況を十分に調査した上でないとわからない。建設費用についても図書館部分のみならず、市民の交流スペースや会議室、文化財の保存場所、その他民間利用のスペースなどがあることから、面積については、市内及び市民の皆様に意見を聞きながら協議していく。

問 新図書館の施設及び設備について、市民からの意見をどのように聞くのか。

答 西田生涯学習課長

ワークショップの実施や、読み聞かせの会などの図書館利用者の関係者、また複合施設設備としていかにまちづくりに活用していくのか、それと共に児童生徒の意見など、幅広くヒアリングを実施する予定である。

問 学校や保育園には結構な蔵書数がある。日本で一番子どもたちが本を読むまちをつくる会やまねきねこの会が寄附を行ってこられたありがたいことだ。しかし公民館での蔵書数があまりにも少ない。社会教育法における公民館の項目の中に「図書・記録・模型・資料等を備え、その

利用を図る」とある。市全体での図書館環境整備について聞く。

答 西田生涯学習課長

図書館整備の際には、新たな図書館システムの構築も必要である。また図書館と地域をつなげ、現在行っている巡回図書の充実を図るなど、さまざまな工夫をして、幅広く活用していただきたいことが重要である。

有害鳥獣の被害対策

問 鹿によってヒノキの皮がはがされ、被害の実態を調査し、何らかの対策をするべきではないか。

山が荒れていると聞いた。皮をはがされたヒノキは腐っていくことだ。被害の実態を調査し、何らかの対策をするべきではないか。

答 楠瀬農林水産課長

現在須崎市内で、ヒノキの被害報告はまだ上がっていない。今後報告が出てきた場合には、対応していきたい。

問 鳥獣被害の駆除した場合の報奨金はいくらか、また対象となる有害鳥獣の種類、金額の拡充はできないか。

答 楠瀬農林水産課長

有害鳥獣による農作物等への被害を軽減するための駆除に対する補助は、4月1日から11月14日までの禁猟期間に限り、須崎市有害鳥獣被害対策事業でイノシシ1頭につき

7,000円、カラス1羽1,000円を補助している。また、国の事業である鳥獣被害防除緊急捕獲等対策事業で、イノシシ、鹿の成獣それぞれ1頭につき7,000円、幼獣に1,000円を継ぎ足して補助を行っている。今年度からは11月15日から翌年の3月31日までの狩猟期間についても、市の単独予算で補助し、周年の補助制度に拡充している。

補聴器について

高知県では「加齢による難聴の補助制度を国に求める意見書」が可決された。自治体によって独自の補助制度を設けているところがある。補助制度の創設を国に求めていくことや市独自の補助制度を創設することはできないか。

答 吉本長寿介護課長

加齢性難聴者への補聴器購入助成に対しては、国・県ともに補助制度がないので、県内では補聴器購入助成事業を行っている市町村はない。ただ、全国レベルでは独自で助成事業を行っている自治体はある。市独自での助成となると、一般財源での予算措置となることや、その制度設計のこともあるので、国及び県の動向や他市の状況を見ながら精査する必要がある。

その他 夏休みの学校・プールについて、避難道への誘導灯について質問。

11日(水)



豊島美代子 議員

公共下水道等の運営契約について

問

浜松市に次いで全国2番目に「公

共下水道等に運営権を設定する契

約書の議決を求める議案」が提案されて

いる。市と契約する相手企業について聞

く。

答

里見建設課長

仮契約の相手先は、株式会社クリンパートナーズ須崎。代表取締役社長は、株式会社NJSの代表取締役社長でもある。構成企業は5社で資本金3,000万円。住所は西崎町。市内に常駐する社員は技術管理者を含め10人体制となる見込み。

運営権者（クリンパートナーズ須崎）から市職員の派遣要請があ

れば、派遣することもあり得るのか。

問

運営権者（クリンパートナーズ須

崎）から市職員の派遣要請があ

れば、派遣することもあり得るのか。

現時点では、市職員の退職派遣要請は受けていない。限られた人員で業務を行つていることから、職員を派遣することは難しいと考えている。

業務を第三者へ委託することが可能となつていて、そういう意向を聞いているのか。

答 里見建設課長

業務内容が多岐にわたつており、全ての業務をこなすことは株式会社クリンパートナーズ須崎だけでは難しいと聞いている。業務委託の詳細は、契約成立後に協議を進めたい。

市と業者との契約期間は20年間

となつていて、事業期間の延長

は市と運営権者両者の協議で合意すれば

可能となつており、最長24・5年を超える

ことはできないとあるが、その後も同一の

会社と契約することはあり得るのか聞

く。

答 里見建設課長

その時点の状況にもよるが、株式会社クリンパートナーズ須崎との再契約の可能性はあると考えている。ただ、運営事業の終了までに再度、事業者を公募し、プロポーザル方式により運営事業者を決定することになると考えてい

る。

答 里見建設課長

学校統廃合計画について

学校適正配置計画は生徒、児童数のみに基づいているが、実際の統廃合計画は、浸水地帯など防災、地域づくりの観点なども考慮されなければならない。

小規模教育、複式学級の意義、小中一貫校の教育的効果やデメリットなどについても、地域住民含め十分な議論ができる環境づくりが重要。そのためにも統合計画決

定期期を、前もつて定めるべきではない。

統合計画は、防災の観点も含めて検討する必要があると考えているが、地域づくりの観点については、もっと広い視野から総合的に考える課題であると考えている。

統合の時期については、ある程度のめどは定めるべきと考えている。統合となると、学校に対する愛着や小規模校で満足してお

り、統合の必要性を感じないなどの意見があるかもしれない。

教育委員会としては、この統合により、よりよい教育環境の確保と教育活動の充実を目指していくことから、実効性を持たせるという意味で、時期は定める必要があると考えている。計画の説明は、保護者・PTAのみならず、地域の方にもしていく所存である。

保護者を含む地域住民から、特認校など特色ある学校づくりへの希望が出た場合は、それを尊重する考

はあるのか。

答 北川学校教育課長

特色ある学校づくりと言つ意味では、認めたいと思っているが、特認校だから統合計画から外すという考え方ではない。

国保税

国保税を引き上げる自治体が増えているが、引き上げるべきではない。

固定資産税を国保税から除外する3方式へ早期に変更すべきと考える。

また、県は国保運営を担うようになつたが、独自の補助金は入れてないと理解する。県の繰り入れを求めて行くべきではないか。

答 楠瀬市長

平成30年度の国保運営協議会において、当面は現行の4方式を採用するとの答申をいただいている。景気の動向に影響されにくい4方式が、国保税の引き上げにつながらないことを考えていい。

県に対しては、財政支援を求めていくと考えている。

その他 市長選挙の公約、須崎市総合計画、おひさま保育園など質問。

11日(水)



柿谷 悟 議員

については、各学校と校長先生方と協議をしてみたいと考えている。

調査結果から、この池が大変貴重なものであることが示されたと聞いています。私たちの身近な自然環境に関心を持ち、それを知ることは、今求められている環境を守るライフスタイルを考える上で大変重要な契機となる。

ふるさとに誇りを持ち、愛着を持つことができる子供たちの育成は学校教育の重要な目標の一つの手段であるが、防災の課題もあり、多角的な観点から対応すべき課題と考えている。ただ、その池のみを教育行政方針の具現化の一部という捉え方については賛成いたしかねる。

答 楠瀬市長

高岡地区小中学生科学研究発表会で上分中学校のH・Y君がジンデン池の生物調査を発表した。39種類のトンボ、26種類の生物が確認された。絶滅危惧種のキトンボとミナミメダカ、準絶滅危惧種のカトリヤンマ、マルタンヤンマ、モノサシトンボ、ミズジトンボ、注目種のニホンシガメ、アカハライモリがいる。そして、外來種は一匹も確認されなかった。この池は須崎市の宝だ。

本市の教育振興基本計画や今議会に提出された須崎市総合計画の基本構想など取り組みが具現化される絶好の場所であると思われる。須崎市教育委員会と須崎市の取り組みを問う。

答 細木教育長

本市での小中学生の科学研究発表会

ジンデン池の廃止工事

聞く。

答 西田生涯学習課長

ため池の廃止工事をして命と財産を守る対策は必要だが、ため池と言つてもそれぞれ違つ環境や状況がある。その違いに配慮しない一律なやり方はいかがなものか。1人の中学生の調査が発表されなかつたら、ジンデン池が生物の多様性を有する貴重なものであることに気づかず工事をしてしまったかもしれない。また、

池の下手には生活道路がある。それでも一律にため池として工事をするのか。

答 楠瀬農林水産課長

昨年の西日本豪雨などにより農業用のため池が被災するケースが発生し、国は、ため池の下流に人家や公共施設等があり、貯水量の大きいため池を防災重点ため池と位置づけ、適正な管理と保全に関する法律が本年7月に施行された。ジンデン池も何らかの対策を講じる必要がある。

農業用ため池としての利水実績がないので、廃止の方向性を持つていいところだが、今後、地元、池周辺地権者等の意向を踏まえ、希少生物の保護に配慮できる工法について、国、県と協議していくたい。

硬式テニスコートについて

問 市民から署名運動のあつたテニスコートの整備について、進捗状況を

その他 しんじょう君について 質問。

政教分離について

スポーツ施設の整備を図ることは市民の生涯スポーツへの取り組みを進めるために大変重要だ。テニスコートの整備は、場所及び財源の確保が必要であり検討していきたい。

12月号広報に「巡航船に乗つて鳴無神社に初詣に行きませんか」との記事が掲載された。これは憲法の政教分離を犯すものだ。憲法で信教の自由が保障されており、信仰は尊重されなければならない。同時に政教分離も注意深く守られなければならない。先の戦争の反省を忘れてはならない。広報での表現を注意すべきではないか。

答 國澤企画政策課長

鳴無神社には初詣に多くの方が訪れて、周辺地域の道路では大きな渋滞が発生している。地域生活にも支障が出ており、地域からの要望、観光や地域振興、渋滞緩和における、地域の公共交通としての役割を果たすもので、特定の活動に便宜を図っているものではない。

意見交換会を開催します

須崎市議会では、市民に開かれた議会、市民に信頼される議会を目指し、「議会基本条例」を制定しています。
この条例の目的を達成するため、下記の日程で市民と議会の意見交換会を開催します。

この意見交換会は、市民の皆さんに議会の活動を知っていただき、同時にご意見を伺うための場です。
多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしております。

開催場所	開催日時
多ノ郷公民館	令和2年2月21日(金)
南公民館	午後7時から
浦ノ内市民交流会館	

請願と陳情

市民の皆さんから出された請願・陳情は、それぞれ本会議で所管の委員会に付託し、慎重に審査のうえ、最終日に委員会より結果の報告がなされ、決定します。

陳情

採択

- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択を求める陳情書
- すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書の提出を求める陳情書

議会議案 意見書等

可決

- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の提出について
- すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書の提出について

会議録が ご覧になります

本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録(3月上旬発行予定)をご覧ください。なお、会議録は議会事務局のほか、図書館、各公民館に備えてあります。
議会開会日は、よさこいケーブルネットで生中継や録画放送も行われています。

須崎市ホームページにも掲載 <http://www.city.susaki.lg.jp/>